

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成30年度第1回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開 催 日 時	平成30年5月23日（水） 19時30分 ～ 21時10分
開 催 場 所	市民総合センター3階 中会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：下田委員、小関委員、小山委員、宇津木委員、堀尾委員、佐藤（大）委員、高佐委員、中島委員、井梅委員、五十嵐委員、山岸委員、中野委員、鹿取委員、佐藤（千）委員、内田委員、高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、管理係係長、管理係主任、高齢福祉係係長、高齢福祉係主任 欠席者：河西委員 傍聴者：0名
議 題	報告事項1 委員委嘱について 報告事項2 平成29年度第3回会議録について 報告事項3 平成29年度第1回多職種研修会の実施結果について 報告事項4 在宅療養ハンドブックについて 報告事項5 その他 議 題1 副会長の選任について 議 題2 作業部会の設置について 議 題3 平成30年度第1回多職種研修会の実施について 議 題4 ICT関連等について 議 題5 認知症初期集中支援チームについて 議 題6 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：副会長に五十嵐委員が選任された。 議題2：在宅医療・介護連携支援センターを事務局とし、作業部会を開始することとなった。 議題3：平成30年10月13日（土）に「ACPについて」をテーマとして開催することとなった。細かい部分については部会で作業することとなった。 議題4：WEBマップのシステム運営について要検討することとなった。 議題5：平成29年度の活動について特に不適當なところはなかった。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開 会 《報告事項1 委員委嘱について》 事務局：説明 委 員：質疑なし 《報告事項2 平成29年度第3回会議録について》 事務局：説明 委 員：会議録中、在宅医療・介護連携支援センターの名称に誤記があるので、訂正をお願いする。

事務局：訂正対応を行う。

《報告事項3 平成29年度第1回多職種研修会の実施結果について》

事務局：説明

委員：質疑なし

《報告事項4 在宅療養ハンドブックについて》

事務局：説明

委員：質疑なし

《報告事項5 その他》

事務局：特になし

委員：特になし

《議題1 副会長の選任について》

事務局：前副会長が法人内人事異動に伴い退任された。協議会設置要綱では委員の互選により定めることとなっているので、選任をお願いします。

会長：前副会長は地域包括支援センターからの選出区分だったので、同じ選出区分の五十嵐委員にお願いするのはいかがか。

委員：異議なし。

会長：それでは副会長は五十嵐委員とする。

《議題2 作業部会の設置について》

事務局：前回の協議会において、作業部会を設置し、事務局を在宅医療・介護連携支援センターが行うことと決定した。改めて作業部会の位置付け等を整理したものを案として示すので協議をお願いします。

委員：在宅介護連携支援センターが事務局となるとのことだが、作業内容は何か。

事務局：作業部会の運営を主体的にさせていただくことになる。具体的には場所の確保や開催通知の発出、会議の運営等を考えている。

委員：部会で決定したことを協議会で協議しなければならないのか。

事務局：内容による。研修会については、大枠は協議会、細かい部分は分科会で、といった役割分担を先に協議会で決めておくということが考えられる。

委員：研修会について、部会のメンバーには研修修了証は発行されるのか。

事務局：発行ができる人とできない人がいる。研修会の主催者側として当日を含め作業をしていただく方に修了証を発行するのは難しいが、部会のメンバーでも研修会参加者であれば修了証を発行する。

《議題3 平成30年度第1回多職種研修会の実施について》

事務局：今年度第1回目の研修会を9月29日（土）の午後を予定している。また、研修会のテーマ等協議していただきたい。

会長：9月29日は医師会の予定があるため参加できない。別日での開催が良いがいかがか。

委員：9月中に開催しないといけないのか。

事務局：決まりはないが、半期に1回ずつで年2回の開催を予定

委員：都合を考えると10月13日（土）しかないように思う。

- 会長：10月13日で決定してよいか。
- 委員：異議なし。
- 会長：次に研修会のテーマについて、取り上げてほしいテーマはあるか。
- 委員：年2回行うということであれば、第1回目は医療面から見た連携についてとし、第2回目は介護面から見た連携ということもできるのでは。
- 委員：年間のテーマを「介護と医療の連携」とし、第1回目は医療面からの講義やグループワーク、第2回目は介護面からの講義やグループワークといった考え方ということか。
- 委員：1つのやり方として提案している。
- 委員：テーマが大きすぎるので絞らないといけないのでは。
- 委員：大きいテーマより小さいテーマの方が参加者が増えるのでは。前回のアンケート結果から選ぶのもありではないか。
- 委員：年間のテーマを決めて行うのは良い考えかもしれない。まだまだ他の職種が何をしているのかよく知らないことが多い。初心に戻るのも良いのでは。
- 委員：連携が進んできたからこそ、つながりやすい、つながりにくい等のギャップが大きくなってきている部分もあるのではないかと。相互理解を進めることも必要
- 委員：前半の講義を1回だけにしてグループワークの時間を多くとるならばテーマを絞る必要がある。
- 委員：みんなが言い合えるテーマにしないといけない。
- 委員：実務だとターミナル（終末期）での対応に困ることが多い。
- 委員：終末期をテーマにするとどうしても講義が多くなる。
- 委員：寝たきりになってしまうと介護の必要があまりない。医療の介入が大きい。
- 委員：ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマにするのはどうか。
- 委員：ACPなら意思決定のプロセスなので講義も可能
- 委員：ACPについてはよく知らないが、よく聞く言葉でもある。勉強が必要と感じている。
- 委員：1回目はACPとして2回目のテーマを続きとするのか、別に設定するのか。
- 委員：参加者によるのではないかと。同じなら続きでも良いかもしれない。
- 委員：今後の作業部会で決定したら良いのでは。
- 事務局：日程とテーマが決まったので、残りについては作業部会でおすすめでもよいか。
- 委員：部会メンバーの選出はいつ行うのか。
- 事務局：早急に行いたいのが具体的には未定。以前のICT分科会のメンバー等を考えているが、在宅医療・介護連携支援センターと決めていきたい。
- 委員：部会の頻度はどれくらいか。
- 事務局：多職種研修会とWEBマップについて月1回程度を想定している。

《議題4 ICT関連等について》

- 事務局：平成30年度ICT関連の予算は資料のとおり。「介護と医療連携マップ」について、WEB上でのマップを秋ぐらいを目途に作っていただけると考えている。

委員：在宅医療・介護連携推進事業補助金について、タブレット端末何台分が含まれているのか。

事務局：タブレット分は入っていない。運用経費である。

委員：ICTの範囲を広げる予定はあるか。

事務局：医師会が主体。現状に応じて広がる可能性はあるかもしれないが、現状そういったことは聞いていない。

委員：WEBマップの資料を見ると、23区全域で行っているように見えるのだが、実際にしているのか。

事務局：資料がモノクロなので分かりにくくなっているが、都内を23区と多摩地区で色分けしているだけであり、この地図上で行っているのは立川市だけである。

委員：病院や事業所等の検索結果は行政区単位なのか。市境等に住んでいるときに、地域から探すことはできるのか。

事務局：可能と考えている。

委員：WEBマップは市のホームページに掲載されるのか。

事務局：市のホームページから外部リンクという扱いになると思う。

委員：サーバのメンテナンスや医療機関や事業所等の入力はどこが行うのか。

事務局：サーバ管理と初期設定は業者が行う。当初の入力についてはこちらで行うことを考えている。

委員：多くのところが失敗している要因が、リアルタイムでマップに反映されていないところである。更新を各事業者にまかせると更新頻度がまちまちになってしまう。東京都が作成している「医療機関・薬局案内サービスひまわり」というのがあるが、半年に1回更新しており充実している。乖離はどうするのか。

委員：既存のネットワークがあるのに新しいものを作っても無駄になってしまう。更新をどうするのか、また、既存のネットワークとの連携をどうするのが課題

会長：取りまとめる人がいないと難しいのでは。この予算でできるのか。

事務局：タイムリーに更新された方が良いと考えたので、情報更新用の予算はとっていない。必要に応じて対応していく。

委員：立川市は更新の権限は誰が持っているのか。事務局で行っているのではないのか。

事務局：情報の更新は各事業所等で行っていると聞いている。

会長：運営については検討が必要

委員：医療機関と介護事業所が同じマップに掲載されているのが最大のメリットかと思う。マップの目標設定が必要

委員：高齢者はインターネットを閲覧できないこともある。平成27年度に作成した紙ベースのマップも更新する必要がある。

事務局：紙ベースとデータでの更新を考えていきたい。

《議題5 認知症初期集中支援チームについて》

事務局：平成29年度の活動報告を行う。

委員：今年度の方針としてチーム員の派遣の迅速化とあるが、具体的にはどうするのか。

事務局：派遣については、認知症疾患医療センターの判断もあるので、連携をより密に行っていく。

委員：チームが介入するためには本人等の同意が必要とあるが、すぐに取れるのか。

事務局：介入が決定した場合、本人等の同意を得ることと同時に会議や訪

	<p>問日程調整等、並行して行うこともある。</p> <p>委員：チーム介入が不適となったケースはあるのか。</p> <p>事務局：精神疾患と判断し、不決定としたケースがあった。</p> <p>《議題6 その他》</p> <p>事務局：現在の委員の任期は9月末までとなる。次回の協議会については、部会の進捗状況によっては改選前に開催することも考えられる。その際は別途案内をさせていただく。</p> <p>終了</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>公開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> </p>	<p>傍聴者： _____ 0人</p>
-------------------------	---	----------------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： _____） </p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部高齢福祉課（内線：632）</p>
--------------	---------------------------

（日本工業規格A列4番）